

第4回フレッシュ士業交流会報告

平成26年11月30日（日）日本教育会館にて午後2時15分～午後7時にわたって弁護士業務センター主催の第4回「フレッシュ士業交流会」が行われました。この交流会は、タイトルどおり、登録数年目の「フレッシュ」な士業が集まり、ディスカッション・懇談会を通じて交流を深める目的のイベントです。

巷では様々な士業交流会が開催されていますが、本交流会は、二弁弁護士業務センターが主催していること、主な参加者を登録数年目の「フレッシュ」な士業に限定していることに特色があります。また、懇親会を開催するだけでなく、懇親会の前に、参加者同士が互いの士業に関する理解を相互に深めることが出来るよう、少人数グループに分けてディスカッション（今回のテーマは①士業連携と企業支援、②士業連携とマーケティング）を実施しました。

本交流会には主催者側弁護士6名を含め合計72名の士業が参加しました。内訳は以下のとおりです。

- 弁護士（主催者含め16名）
- 司法書士（14名）
- 税理士（公認会計士兼務含む8名）
- 公認会計士・公認会計士準会員
（税理士兼務含む17名）
- 社労士（12名）
- 不動産鑑定士（7名）
- 弁理士（1名）



本交流会終了後のアンケートでは、本交流会について参加者からおおむね好意的な意見を頂きました。特に、ディスカッションを通じて、「他士業の先生の活動分野・内容を知ることが出来た」（弁護士）、「他士業の考え方が理解できた」（不動産鑑定士）など、互いの業務に対する理解を深めることが出来たとの意見が多い印象でした。

フレッシュ士業交流会も4回目を迎え、今年度は最大人数の士業の方に参加して頂くことができました。開会当初は、緊張をされているせいか固い雰囲気

の方が多く見られましたが、ディスカッション終了のお声掛けをする頃には、白熱した議論が行われており、終了するのが難しいという嬉しい誤算もありました。ディスカッションでは、各士業ならではの視点から意見が述べられており、士業同士の連携の必要性を感じる場面が数多くありましたし、その後の懇親会では、ざっくばらんなお話をさせて頂くことにより、士業同士の距離を縮めることができたと思います。

さらに今年度は、フレッシュ士業交流会で得たつながりを継続して頂くために、「もう一度会いましょう会」や「士業交流女子会」、個々のディスカッショングループごとの懇親会も行っています。本交流会ではお話しし切れなかった日々の業務の悩みを交換させて頂くことができ、少し疑問があれば相談してみようという環境が作れていると思います。

期の浅い弁護士は、他士業の方との交流の場が大変少なく、どのような形で他士業の方とのつながりを作っていけばよいのか悩むことが多い中、フレッシュ士業交流会は貴重な機会であると思います。今後も本交流会の質を高めていくとともに、そこで得たつながりを強化する取組みをしていければと思います。

今後も本交流会は継続して開催していく予定です。また、交流会の対象を経験10年程度の士業とした「リフレッシュ士業交流会」の開催も検討しております。弁護士業務センターでは、このような交流会を通じて弁護士業務の理解を広げて、業務の拡大に繋がる活動を進めてまいります。

